

みどりの基本計画推進会議における主な意見（令和2年度～令和5年度）

参考 1

事項	意見
改定に向けて	地区別取組方針をアップデートしていくということは非常に大事であると感じている。
	緑視率について、計画策定時から5年間経って1%上昇していないため、目標達成については課題を洗い出し検討をしなければならない。今までやってきたことをもう1回整理して、道路などのインフラに匹敵するように緑の機能を捉えていく必要がある。
	最近では様々な価値観があるので、評価の基準を作るというのが非常に難しいと感じている。
	中間時点の評価としては、「実施した」、「していない」ではなく、目的に対して貢献しているかという評価になるはずである。
	事業評価にあたっては、企業のKPIやKGIのように事業ごとに達成状況を割合などで数値化できないか。できる事業とできない事業があるので、できる事業に関しては数値化していくのも1つの方法だと思える。 評価については、数値化できるものかどうか、どういった形で評価するのかというのは、今後の検討課題だと思っている。 “みどり”は、自然・生き物を取り扱い、その評価方法をどうするかなど、費用対効果を測ることは難しいですが、そういったことも含めて、“みどり”をより多くの区民に知っていただき、理解を得ていくことが、みどりの基本計画の推進に一番必要なことだと思っています。 現在、自治体の多くは、A、B、C評価ではなく、できるだけ数値で表す方向へ変わってきている。
社会情勢の変化等	新型コロナウイルス 視.5 新型コロナウイルスの影響によるみどりの在り方。コロナ後の公園緑地の在り方やみどりの価値の再認識。コロナ後に新しく生まれてく課題やニーズへの対応とフォローが必要。
	健康・福祉 (Well-being) 視.6 緑のまちづくりは、区民のニーズに即した体験の楽しさや豊かな生活に留まらず、区民の健康増進や健康年齢の維持につながる取組としても意義があり、ますますの工夫が期待される。 健康な街づくりの観点として、鬱などの心的疾病やけがの予防、体力維持のために、安心して体を動かせる場や心を開放しリフレッシュできる場などの重要性は高まっており、施設整備と活用イベントの両面からの取組を期待する。 生物多様性や気候変動、そしてコロナ禍を経てウェルビーイングという言葉がとて重要視されるようになった。これは心と体の健康と社会的な繋がりがあある状態を指している。
	温暖化対策・気候変動・災害への対応 視.7 気候変動に伴いゲリラ豪雨等の増加が予想されており、緑地での都市型水害（内水氾濫）対策も重要。 防災啓発の場としての公園活用について、かまどベンチを使用しているJ.L講習会にも参加経験があり、すべての公園に設置しても良いくらいと思う。 今後の気候変動に合わせた公園のアップデートを考えていく必要がある。先事例では、紫外線対策として、夏になると頭上にシートが張られます。能登半島地震では、被災者が、避難所で肩を寄せ合いお互いに励まし合う様子がテレビに写し出されると、まさにコミュニティレジリエンスが大切だった。 「災害時における舟運の活用」とあるが、非常事態となった時には予測通りとはいかない事態が起きると考えた方がいい。そのためにも日常からの船着場の利用、水と緑のネットワークの繋がりと連携を意識していきたいと考える。
	生物多様性 視.8 ポケットエコスペースの維持管理や、エコリーダの養成は、次世代を担う子供達の育成にとって、身近な自然との体験のかわりを通して生命尊重や思いやり、環境教育につながる取組としても重要な意義があると考える。 みどりの基本計画の推進において、生物多様性を含め主体間の連携強化により取組の拡充が必要と考える。国家戦略や地域戦略の改訂に加え、OECMもはじまっている。江東区では、区民・学校によるポケットエコスペース、コミュニティガーデン、水辺活用、事業者によるビオトープなど、民間の取組が各所で長年取組まれてきており大きなポテンシャルがあると考える。 ポケットエコスペースの整備は、生物多様性保全、ビオトープネットワークの構築、環境教育面等において重要。江東区では全国的にも推進されてきており、用地の確保や維持管理等のハードルもあるかと思いますが、今後の整備推進が望まれる。 クビアカツヤカミキリやカシノナガキクイムシの防除対策が必要。 ビオトープや畑があるサステナブルな公園が身近にあると、子供達も生物多様性、SDGsを日常で感じながら暮らせるのではないかと。 地球規模で生物多様性を考えると、都市の住民の消費行動が非常に大切になっている。江東区には50万人の区民が暮らしているが、その区民の方々がどのような意識で生活していくかは、今の時代に生きる人間の一人として求められることだと思う。 生き物による恵みや生物多様性による恵みというのは私たちの生活の基盤となる。生物多様性の話になると希少種や外来生物をどうするのかといった話になりやすいが、身近なところにあることを伝えることが普及啓発になる。 自然環境と社会環境、経済環境は横断して、関連づけていかなければ解決できない。そのためには社会改革が必要となり、すぐには難しいが、やれるところからやるべきと思う。 30by30やネイチャーポジティブ、自然共生サイトなど、新しい社会の動向があるため、基本計画の見直し時に手早く入れ込む必要がある。
	民間緑地認証・民間投資 視.9 視.10 国の動向としては、「民間投資による良質な都市緑地の確保に向けた評価のありかた検討会」が立ち上がった。 ここでは、「気候変動対策」、「生物多様性の確保」、「Well-beingの向上」の3つを柱にしている。ESG投資といった環境と社会とガバナンスがきちんとしたものに対して投資家が投資する仕組みや、消費者がそういったものを選択する世の中になってきた。民間の力を利用して、きちんと緑地を評価し、そこに投資が集まるような仕組み作りを検討している。 企業緑地についても、企業単体では難しくなっている印象があり、官民学が連携する中で社会に対するインパクトをどのように与えられるかということが、企業の経営やESG投資の中でも求められてきている。 自然共生サイトとしては、江東区では清水建設の再生の杜とフジクラの2箇所が登録されている。柳井副会長が審査員をされているS E G E Sもフジクラと豊洲にはアーバンドックパークシティと、豊洲市場に近接する東京ワンダフルプロジェクトの2箇所がある。 事業者のなかには、SDG・ESG経営の観点から、公共空間での地域貢献や自社の企業緑地の有効活用を模索する事例が出てきています。 きっかけづくりやマッチングのような支援の仕組みがあると地域連携の実践を広げていける可能性があると考えます。
	パークマネジメント 視.11 東京都の動向としては、「新たな都市公園の整備と管理のあり方について」の審議会答申を出した。一つは、パークマネージメントマスタープランというマスタープランを策定するものである。また、マスタープランに基づく公園別マネジメントプランを策定し、各公園の特性を踏まえながら取組を進めている。パークマネージメントプランとは、公園を使いこなす、公園を育てていくという観念であり、何年までどういう育て方をするか、経営的な部分も含めたものである。江東区では、みどりの基本計画に管理の方針は記載されているが、まだまだ余地があると感じる。この動きは、東京都だけでなく、他区でも見られる。江東区もパークマネージメントを考えていくべきではないかと思う。 一人あたりの公園面積が江東区は23区で3番目であり、これをさらに有効に活かしていくためには、パークマネージメントなど、そういったプランを立てる必要があると考えている。 パークマネージメントの観点が今後重要になると思えます。公園緑地関係部署だけでなく、みどりは福祉、教育など多分野に関連するので、これらを含めた費用対効果を考えると、みどりの必要性がより理解されやすく、活用できるのではないかと。 重点プロジェクト「公園改修事業（防災機能強化）」について、グリーンインフラの観点から重要と認識している。代表技術である雨庭（レインガーデン）は、国土交通省の流域治水にも位置付けられており、民間企業でも取り組みが活発化しています。世田谷区や京都市、札幌市などでもモデルガーデン整備などが始まっています。
	グリーンインフラ 視.12 重点プロジェクト「公園改修事業（防災機能強化）」について、グリーンインフラの観点から重要と認識している。代表技術である雨庭（レインガーデン）は、国土交通省の流域治水にも位置付けられており、民間企業でも取り組みが活発化しています。世田谷区や京都市、札幌市などでもモデルガーデン整備などが始まっています。

社会情勢 の変化等	DX (デジタル技術の活用)	<p>視点4</p> <p>デジタル技術をどのようにして活用していくか、現在は主流化しつつある。こういった観点の基本計画の見直しには必要になってくる。</p> <p>各目標の進捗状況を一覧的に参照できる「見える化ダッシュボード」をデジタル的に整備・公開して、目標ごとに担当部署自身が随時更新する運用とすることができれば、区民の皆さまともタイムリーに状況を共有でき、関心を持っていただけるのではないかと。</p> <p>区民の皆さまに取り組みについて知っていただく部分に課題感があるように感じています。部署を超えて、自治体DXと絡めて効率や効果を高めつつこの部分を強化していくことで一人ひとりに自分事として捉えてもらうことができ、計画の達成に向けての取り組みも加速していけると考える。</p> <p>WEB形式のオープン研究会などを開催し、WEBによる参加や動画配信などを行えば、もっと大勢の区民の方に興味をもってもらえると思いますし、そのことがボランティアに参加する人を増やすことにもつながると思います。</p> <p>イベントは、自分たちが住んでいる区の問題を知る意味でも、とても重要であるが、応募方法が、ファックス応募や往復ハガキなど、募集方法のハードルが高い。メールで気軽に申し込みができる方が、さらに多くの家庭も参加できると毎回感じている。応募方法のハードル下げてもらいたい。</p> <p>各イベントの申し込み方法はすぐにでも改良いただきたいです。子育て世代は忙しく、往復ハガキを購入したり、区役所窓口へ申込書を届ける時間があります。</p>
		<p>視点5</p> <p>森林環境贈与税について、江東区はCIGを進めているため、江東区ならではの使い方があれば、検討材料にしてもらいたい。江東区では学校整備の際の、資金に使っているという話を聞いている。</p>
		<p>視点5</p> <p>都市緑地法改正</p> <p>都市緑地法の改正が国会で通ると、施行は今年の秋頃となる。改正の内容には、4つほど大きなテーマがあるが、中でも、樹木、樹林の更新や民間緑地の扱いについて考えなくてはいけない。</p>
計画のさらなる 推進に向けた 目標や事業の 課題等	情報発信の 仕組み	<p>視点4</p> <p>みどりの情報発信について、活動に参加できるような発信の仕組みを作ってもらいたい。区報以外にも、気軽に発信することができる参加者・ボランティアを募集できる仕組み・ポータル作り。</p> <p>都立公園等のボランティア団体など、区内で活動している団体をまとめて紹介するツールも考えてほしい。</p> <p>コミュニティーガーデン等の区民活動については、効果的な広報や情報共有の場が必要。</p> <p>区内で行われている様々な活動について、色々な方々に広く知ってもらえる場ができると良い。</p> <p>「江東区みどり情報の発信」（例：江東区みどり総合ポータルサイト）は当該項目を推進する上で重要な取り組みと考えている。</p> <p>情報発信については、活動の紹介だけでなく、イベントや活動情報の提供・参加者募集など実際に関わられる機会を提供できるような仕組みを作りたい。</p> <p>情報を発信するだけでなく、発信した情報をいかに届けることができるのか、ということが各分野で大きな課題であると思う。</p> <p>みどりの取り組みをMAPにまとめる等、誰もがみどりの取り組みを知ることができるように、周知方法について工夫をしていただきたい。情報が整理集約していると、区民の方にも参考となる。情報のプラットフォームは、適切な部署を区役所内部にて調整いただきたい。</p> <p>重点プロジェクト「CIG民間緑化推進事業（江東区みどりの情報の発信）」について、民間主導の取り組みのなかにもCIG推進に貢献する活動も増えており、区として積極的に支援できる仕組みがあると良い。</p>
		<p>視点4</p> <p>区内でどのような区民活動が実施されているかを、活動グループ同士や区民が知る機会が必要。活動報告会・懇親会など。</p> <p>みどりに関する活動の参加希望者と活動団体とのマッチングをどのように支援していくかが重要。</p> <p>行政・団体や区民の情報共有と連携がこれから欠かせないこと。</p> <p>「サードプレイスとなる居場所づくり」と「地域による公園管理運営の仕組みづくり」について重要な施策と考える。区内でストックされている公園・緑地を磨き直し、柔軟に活かすソフトな仕組みづくりが今まで以上に重要になってきていると考える。隅田川オープンテラスのような取り組みは、とても意欲的な試みで今後のさらなる発展の可能性も感じています。公園・緑地を拠点としつつ、河川・運河沿いやコミュニティガーデンやポケットエコスペース、企業緑地など周辺のみどりとも緩やかに連携することが、水辺・みどりから新しいまちづくりが生まれ、育つ場づくりにつながると考える。</p> <p>「江東区内のみどりに関心を持ち、関わる団体や区民同士の連絡網、もしくは相互に気軽に情報提供しあえる環境・仕組み」が出来上がりましたら、作業情報の提供や入手した情報を社内にも展開することで地域との交流を促せる。決まった日時や場所に集まらずとも、気軽にみどりに関する情報を交換しあえる、という点がポイントになりそう。</p> <p>みどりの活動強化に向けては、江東区内で緑を広げる活動を行っている企業のネットワークが必要ではないかと。</p> <p>地域で活動されているNPOや行政と連携して、そういうネイチャーポジティブに繋がる取り組みを、できることが大事かなと考えており、そういう企業と、団体間、企業と行政のマッチングができる仕組みがあるといい。昨今では生物多様性やネイチャーポジティブが国際目標であり、企業の関心が高まっている。生物多様性についての取り組みについて情報開示をしなくてはならない流れも生まれてきており、生物多様性に関するビジョンを提示するが、具体的にどのようにして実践していくかを悩んでいる企業は多い。</p> <p>小学校、保育園、老人ホーム、図書館、どんな人たちがそこで時間を過ごし、どんなみどりを求めているのか、まずはしっかりとヒアリングをし、その環境に合うみどりのあり方を提案、実行する。そこまでの活動がないと、見せかけだけで区民に大切にしてもらえる街づくりは難しいのではと思いました。</p>
		<p>視点4</p> <p>情報発信の内容として、各事業間の連携といった視点も必要。例えば、緑のリサイクル事業（剪定枝等のたい肥化）とみどりのボランティア活動支援事業（つちひめの活用）の連携・活用など。</p>
		<p>視点4</p> <p>「江東区はみどりを大切にしています」というメッセージを区民にしっかり認識してもらい、みんなでCIG推進を行い、協力していけるよう、まずはそのことを認知してもらう必要があると思う。木の剪定、伐採についても、規約があった方が、動きやすいのではないかと。</p> <p>CIGをアピールする努力をするべき。一般区民を対象とした講習会等で認知度を確保すると、ほぼ認知されていない。</p> <p>みどりの重要性をどうしたらもっと周知できるか考えていきたい。近隣のアパートで緑地が住民により、まとめて伐採されてしまったことがある。</p>
		<p>視点4</p> <p>プロモーションに力を入れることが課題となっている。また、区民の方がみどりを実際としてとらえ満足するには、プロモーションの方法やイベント等に区民の方が参加することで大きな要素である。まずは、プロモーションする媒体とターゲットを定める必要がある。</p>
		<p>視点4 視点5</p> <p>みどりに関する事業については、推進会議での共有だけではなく、区民等に公開することによって、かなり有用な資料になると思う。</p> <p>みどりに関する事業については、3部6課がいろいろなことをやっており、このままですと本当にもったいないと思う。プラットフォームをどの部署がやるのかという話になるが、うまく調整していただきたい。</p> <p>みどりに関する事業について、今後、取り組み主体や関連団体に企業がよりかかわっていきたくてさらに広がりが感じました。国際目標としてネイチャーポジティブへの関心が高まっており、民間企業のなかでも行政や地域と連携してみどりに関する取組を行いたいというニーズが拡大している。</p>
	企業緑地	<p>視点2 視点4</p> <p>企業の緑地やその取り組みについて、地域の方々に知られていないという課題があると感じている。江東区には、地域の資源や取り組みというのは、たくさんあるので、それをどう伝えていくかが重要だと感じており、基本計画に掲載されている顕彰制度や魅力発信を実施するためには、ポータルサイトのようないくつかのウェブページ以外も含めて検討していく必要がある。</p> <p>会社としては、行政による諸表制制度やツールを活用することで、地域の方への一つのアピールや接点になるとともに、活動が認められることで緑に関する取り組みの継続や強化、活性化のきっかけにもなりそうだと考えている。</p> <p>他分野との連携が必要だと思っている。江東区の場合、企業との関係が重要なことであり、前回お話しした国の評価制度で、新規に緑を作る際に、その緑化について高い評価を受けたところには投資が集まる動きがある。</p> <p>江東区は大手の企業の本社が多いため、そういった企業と連携できれば頼もしい力になるのではないかと。</p> <p>民間事業者にとってもグリーンインフラや生物多様性への取組の重要性は増しているため、企業が取り組み緑地の整備・活用についても積極的に取り上げていくと良いと考えています。「こうとう みどりの魅力発見ポータル」のように、民間のNPO・市民団体、企業の取組の情報をあつめ一体的にホームページで発信する先進的な取組を強化していただければと思います。また集まった情報も江東区公式LINEなどのSNSへの展開を通じて普及浸透につなげられるとより効果的と考える。</p>
		<p>視点4 視点5</p> <p>公園面積の増加にあたっては、港湾局など東京都の未利用地を区に移管してもらい公園として活用していただくことが考えられる。</p> <p>緑化を推進していく中で、虫がいたり子ども達が自然や水に触れられる緑化を進めてもらいたい。</p> <p>限られた土地の中で、どのように活用していくかと考えたときに、公園の目的やターゲットによって公園の機能を決めていく必要があると考えている。都心部では目的を定めていく必要があるため、今後は庁内及び委員の意見を伺い、様々な視点から検討していきたい。</p> <p>今後に向けては、各公園緑地の特性に応じた地域ニーズが重要になってくる。</p> <p>子どもの遊びや自然との触れ合いの場の拡充は重要。</p> <p>歴史的な価値を持っている公園を単に更新してしまうのではなく、重要なものに関しては継承していく必要がある。震災復興公園のうち52の小公園があるが、こういった公園は災害を伝える重要な文化だと思うので、そういうところに配慮しなければいけない。</p>
		<p>視点4 視点5</p> <p>公園整備・利用 (パークマネジメントに関連)</p>

計画のさらなる
推進に向けた
目標や事業の
課題等

みどりの基本計画 推進会議部会	複合	プラットフォーム	<p>部会活動について、ネットワークの広がり江東区のみどりを考える上での一つのプラットフォームのようになり、徐々に機運が盛り上がってくるのが大事。行政がどのように支援していくかという部分では苦労をしていると思うが、全体を見渡した中で協働やパートナーシップをやっていることはそれほど多くないと思うので、是非大切にしていってほしい。</p> <p>部会について、みどりに関心のある区民も参加出来るような機会があると、江東区のみどりを大切にしているという思いが届きやすくなるのではないかと思います。CIGの活動は少しでも多くの人に知ってもらわなければならない活動だと思っています。</p> <p>行政が中心になって事業を進めるというだけではなく、こういったやり方が様々な広がりを生むと思う。おそらく行政だけではイベントを通じた人脈みたいなものはすぐにできるものではないはずである。</p> <p>部会活動の一番の成果は、区内で活動している方々のお顔が見え、活動の内容、方向性なども共有でき、催事も含め、協働できていることが大きな成果だと思っています。</p> <p>部会は、区、NPO・市民団体、区民、企業がフラットに対話できる貴重な連携の場になっている点も非常に先駆的な試みと感じています。</p> <p>部会はみどり分野の産官民が集まる貴重なプラットフォームが構築されています。江東区の前駆的な取組みとして対外PRしつつ、さらに発展させていけると良いと感じています。</p> <p>部会活動は、区と民間の架け橋になってくれると感じています。</p>		
		計画・施策への反映	<p>部会の取り組み成果等が、行政の施策の中に取り込まれて、パートナーシップでみどりのまちづくりが進められることがとても大事。制度としては難しいかもしれないが、最後には個別の施策や取り組みの中に整合させていくことが重要。</p> <p>江東区の強みはコミュニティ活動や区民活動であり、区民意識も多岐に渡り、活発である。部会の取り組み成果等において、江東区にとって良いものや実現性の高いものは、施策の中で整合が取れると良い。</p> <p>部会での東陽モデル地区の取り組みは、地区別計画をに反映させていくような仕組みができると良い。多くの方々が参加し、出てきた区民の実感として良いなどと思うところを地区別計画に照合していくことが大事。</p> <p>部会としての提案を委員会でできる限りオーソライズして、次年度以降に実行するよう要望する。</p> <p>部会での現地視察を区民参加にすることで、広がりが出ると感じる。</p> <p>部会及び関連するプロジェクトの位置づけの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの基本計画の中でのプロジェクトの位置づけ、オーソライズ、事業化が必要。 ・現行施策とのリンク、地区別取組方針への取り込み。 <p>部会の取り組みについては、来年のみどりの基本計画の見直しで組み込むといいと思う。</p> <p>部会の活動のみどりの基本計画のみどりの基本計画の中で位置づけるということは、事業、プロジェクトとしてオーソライズして、予算化まで考えることが必要だと思う。また、みどりの基本計画の中では、地区別の取組方針があるため、東陽町のモデル地区を計画として入れ込むことなど、きちんと施策の中に反映して活かしていくことが必要である中できちんと位置付けていかなくてはならない。</p>		
		推進力	<p>推進会議では、議論はできるが推進することがなかなか難しいため、部会の活動が推進力になっていくことが重要なことだと思う。活動の成果をどのようにCIGの推進に繋げていくかを考えなくてはならない。</p> <p>これまでは一生懸命計画を立てて、進めてきて、それも大事なことが、これからは、まずやってみて課題を出すということが主流になってきている。国の方針などにも、社会実験のようなワードが入ってきている。</p> <p>部会の持つ意味は、行政がそれぞれ推進する、市民がそれぞれ推進する、企業がそれぞれ推進するという中で、パートナーシップで推進しているということに、大きな意味があると思う。個々に推進しているのではなく、パートナーシップで推進していること、今までの活動を継続するというよりも新しい試みを試行して、何かを得ようとしていることが、一番大事なことだと思う。</p>		
		運営 仕組み作り 位置づけ	<p>定例会議や連携イベントなどメンバーの有志に委ねられているという課題もあります。また、部会で蓄積された議論や活動が対外的には見えにくくなっている面もあります。貴重な連携の場を持続的に運営・活用している仕組みと対外的な情報発信の仕組みが重要と考えています。</p> <p>今後この部会をどう位置づけるかが重要だと考えている。このまま推進会議の中の部会としてやるのもいいが、もう少し実施しやすいようにサポートの仕方が重要だと思う。</p> <p>部会には有志の集まりということもあり、イベントなど相乗りで実施してはいるが、企画や運営については、なんとか、ギリギリのラインで実施しているという風にも感じている。このことについて、プラットフォームの強化や支援の仕組みを作る必要性を感じている。</p> <p>有志の集まりであるため活動の持続性やさらなる展開には課題もあるように思います。みどりの基本計画における部会の位置づけ明確にするとともに、産官学民の連携を支援できる仕組み・体制づくりが重要と考えます。</p> <p>部会組織をどのように運営していくかが課題。</p> <p>有志の取り組みで、活動の継続性やさらなる実践・展開には課題があると感じています。みどりの基本計画の中間見直しでは計画での位置づけや産官民のあいだをつなぐ中間支援の仕組みなどを検討することが重要と考えます。</p>		
		既存データの整理・活用	<p>計画の推進に向けて、関連データ（街路樹調査結果や水鳥調査結果等）の所在の確認が必要。各担当部署で管理しているデータを整理していただければと思う。データの有無や紙ベースなのかデジタル化されているのか等のデータ諸元を今一度整理して一元化するだけでも重要であると考えます。</p> <p>住宅団地はみどりの質を上げ、広げる拠点となる可能性がある。江東区はマンション住まいの人口が大変多く、CIGを推進する上では大きな要素となる可能性がある。</p>		
		民有地のみどり	複合 複合 複合	団地の緑地	<p>企業緑地の取り組みとして、従業員や周辺住民へどういった豊かさを提供できるかといったものが課題と感じており、地域の方々とどう連携していくのが展開の方向性と思っている。</p> <p>江東区は企業活動、及びその活動が地域に関係していることが強みだと感じる。清水建設再生の杜、フジクラ千年の森など。</p>
				企業緑地	<p>マンションでは長期修繕計画を立てることが義務化されているが、植栽についても同様の計画があるべきなのではないか。マンション自身がその費用を考えると提示するというのを、区が指導する際に求めると良い。</p> <p>民有地の緑の維持管理については、区ができること、できないこと、他に働きかけることを整理すると良い。公的な団地についても建物には定期的な建替えがあるが、みどりについては何らかの規定があると聞いたことがない。</p> <p>世の中がバイオフィリックに移っていることも踏まえ、より自然や動植物を愛するまちづくりに移行するために、致し方ないで済ませるのではなく、よりみどりに対して伐採や植栽の規制があっても良いのではないかと。</p> <p>景観条例によって高木の伐採については届出が必要になっているが、届出せずに伐採し、条例違反の事例もあると聞いている。本来はみどりの条例にあるべき内容であると思うが、少なくとも、管理課が知らない内に伐採されてしまうのは問題だと感じている。</p> <p>緑化指導後の緑地管理について検討が必要。竣工当時の緑地を維持できていない物件もあるとのことであり、緑化が健全に維持されているかどうか、維持されていないのであれば、追加指導ができないか。</p> <p>緑化指導について、他の分野では事後点検評価認証という一連の動きがあり、緑化指導後の経過時点でのチェックは大事だと感じている。完了後のチェックが5年、10年後にあるかないかで施工した側は緊張すると思う。自治体の所管課でできなければ、NPOにお願いしても良いのではないかと。</p> <p>緑化指導において、既存樹木が残されるパターン、伐採されてしまったパターンの件数及び理由の整理、検証を行う必要があるかと考える。対策を行うとしても、原因を把握する必要がある。</p>
				緑化指導	<p>民有地の緑地について、出前植栽管理セミナーを実施してはどうか。実際に自分がマンションや戸建て住宅の植木の手入れ講習を実施した経験では、さわれないものだと考えていた自分たちの家の植木の手入れがいかに楽しいかが分かってもらえ、お隣さんとの相互の植木情報の交換を通じて、その後の管理にも効果的だという結果をもたらした。</p> <p>民間緑地については、入居後自分たちの資産としての緑の育成管理を行うことで、樹木が大きく育ち自分たちの居住環境と地域環境の向上をさらに良くすることを管理組合や居住者に理解してもらうことが必要。植栽クラブ等の仕組みや仲間づくりを促進することで、CIGに対する意識が向上すると思う。</p> <p>民間緑地が増えるように区がサポートすることや緑化指導でアドバイスしていくことで、CITY IN THE GREENに近づくのではないかと考える。</p>
				サポート	

計画のさらなる 推進に向けた 目標や事業の 課題等	既存のみどり、樹木の保全・更新	視座2 視座3	<p>建替えに伴うみどり（樹木等）の保全方法の検討が必要。昔の住宅公園(現UR)が建てた団地が多く、現在建替えがはじまってきている。</p> <p>既存樹木の更新について検討が必要。全ての場所で行うというわけではなく、場所によっての検討が必要となると思う。</p> <p>緑化指導後の緑地の管理について、緑化協定など何らかの保護策、なかなか難しいとは思いますが、税制等の優遇などの措置があると、なくなってしまいがちな緑を保全できると思います。</p> <p>樹木の保全において、住民視点では、周知というところが大事かと思う。剪定枝を区の施設で集めて堆肥化し、その堆肥を使って野菜を育てるといった循環をイメージできると、より住民も意識して参加しやすくなることも、新しい楽しみが生まれるという意識に変わると思う。</p> <p>増やすこともそうですが、今ある貴重なみどりをどう守っていくのか、何か出来ることがあったのではないかと、今も考え続けています。</p> <p>公園の樹木も街路樹もそうだが、その樹木の更新をこれからどうしていくのかについては、非常に大事な問題である</p>	
		公共施設における みどりの維持管理	視座2	<p>街路樹の管理や魅力づくりの方針・計画はあるのか。しっかりした方針やガイドライン等を検討して作っていくことが大切であると思います。</p> <p>街路樹、公園、学校など区施設の樹木は、適切に維持管理することで良好な景観を形成することができるため、維持管理を考慮した植栽計画を計画できるような庁内体制づくりや適切な維持管理の具体的な方法を検討する必要</p> <p>公共施設の樹木の効果的なマネジメント手法については、維持管理のマニュアルという話なのか、マネジメントをしていくという話なのかということがある。</p> <p>維持管理マニュアルでは個々の樹木への対応という話になるかと思うが、マネジメントと言った時点で江東区全体を見渡して、どの街路樹の路線から改善し、魅力的にしていきたいかのような更新をしていくのかといった前駆的な話になってくる。</p> <p>街路樹などの台帳を整備を全て区で実施していくのは現実的ではないと思う。海外では、台帳を作るところから市民参加型でやっており、市全体の樹木マップが同時にできるとともに、市民との接点になっている。また、樹木の更新の際における相互理解の場にもなっていると思う。みんなで一緒に作る台帳、樹木マップ作りなどの方向性があると、マネジメントの問題と共通理解促進が進んで行けるのではないかと。東京都では街路樹データをオープンデータ化していく取り組みもしているが、それを区のレベルで実施している自治体はあまりないと感じた。</p> <p>小学校が改築などを行った場合は、維持管理の面で植栽の内容を決めるのではなく、学習環境として必要なみどりについて学校と意見交換できればと考えている。伐採・新植するのではなく、移植するなど、持続可能な形でみどりを増やす考えをしてもらえればと思っている。学校のみどりというのは、学習環境としての緑が必要だと考えている。例えばビオトープで、子供たちは休み時間に水辺を除いてメダカが増えた、あるいは少なくなったなど、食物連鎖のことなどについて身をもって学んでいる。</p>
			水辺空間	視座1 視座2 視座3 視座4
	屋上等緑化	視座1 視座2	<p>屋上に家庭菜園や田んぼなどを積極的に取り入れられる仕組みを検討してみようか。</p> <p>屋上緑化について、最近はずつと省エネにする芽緑化が都心のビルで行われているという。</p> <p>小学校等の改修・改築時に、屋上がつくられるような緑化スペースで、教室でも家でもない、癒されるような場所だとすくいい。不登校の子供も増えている現状があり、改修や改築のタイミングで、ぜひ地域や学校の人たちと意見交換をする場を設けてもらえたら。</p>	
		財政・財源確保	視座4	<p>定期的な事業では難しいが、シンボリックな事業や即急性の高い事業に関しては多面的な財源の確保を考えていくと良い。シンボリックなプロジェクトではクラウドファンディングを活用している行政も出てきている。クラウドファンディング以外にもいろいろな方法があると思うので検討すること。</p> <p>総合的に考えるとみどりでアプローチした方が財政的な負担も少なくなることがあると思う。私が参加しているランドスケープ研究会という団体では、福祉や教育など様々な分野を含めて、みどりを総合施策にと提案している。海外ではグレイインフラよりもグリーンインフラで整備した方が多機能で環境負荷も少なくてコストも抑えられるので、治水対策などもこの考え方になっている。</p> <p>樹木の管理は維持費も掛かるのでクラウドファンディングで資金を集めるのも1つの方法にならないか</p>
	各施策について	顕彰制度 みどり100景	視座3	<p>「みどりの顕彰制度」については、区民参加型で、投票ページ自体は大元の江東区ホームページ内に設けて、当該ページへのリンクをTwitterで貼り付けて投票を呼び掛けるなどして区民の関わり・共感を創出していくことも考えられる。</p> <p>顕彰制度については、江東区みどりの基本計画にて、表彰制度を検討することとなっていることから、予算化に向けてご尽力いただきたい。</p> <p>みどりのまちなみづくり事業の民間緑化顕彰制度は、進めようと思えば進められると考えている。</p> <p>民間緑化顕彰制度、江東区みどり100景、みどりの顕彰制度については、相互連携できると良いと感じた。また、後の議題でもテーマとして取り上げられている、「みどりの魅力発券にむけたマップやホームページ作り」との相性が良いのではないかと感じた。</p> <p>計画策定時に予算化しようと思って要求したが、予算化できていないものについては、今後同じ形で要求しても、おそらく予算化は難しいと考えており、このことについて、今後どういった方向性で、予算を要求していくべきか、皆さんから意見をいただければと考えている。顕彰制度やみどり100景など。</p>
			緑の リサイクル	視座2
		緑化助成	視座4	<p>緑化助成制度について、実態として0件ということは、その分析をするべきだと思う。そもそもニーズがないのか、ニーズはあるがそれに合致した助成の内容や仕組みができていないのか、または広報などの問題なのか、いくつか理由があると思う。</p>
		シンボル ツリー	視座3 視座4	<p>「CITY IN THE GREEN公共緑化推進事業（シンボルツリー整備）」について、完成形のみをアピールするのではなく、地域とともに育てていくという意味で、完成までの過程を楽しめるように公開していただくが良い。スケジュールや進捗を区のHPやSNSでタイムリーに公開する。</p>
		コミュニティ ガーデン等 (ボランティア 活動)	視座1 視座2	<p>コミュニティガーデンの発展として、地域の方々と連携を取りたいと考えている。様々な児童館がみどりに関する活動されているので、是非、こども家庭支援課とお話しさせていただく機会を設けていただけないか。</p> <p>区全体としてボランティアの人たちをどのように確保するか、どのように活躍してもらうかということも横断的に考えていただきたい。コミュニティガーデンだが、やはり年配の方が多くて、時が経つに連れて、年齢も上がってきている。若くても40代や50代の世代が入ってきている状況がある。同じような状況が、ポケットエコスペース等のビオトープを管理している方たちも同様と伺っている。</p> <p>コミュニティガーデン活動がより一層発展していくためには、そういう保育園などとの繋がりが大切だと感じている。</p> <p>コミュニティガーデン活動では、活動後に少しお茶する場とか、その後に、みんなが集うような場みたいなことがきくと大切だと考えている。他のセクションとの連携を、これから模索していく必要があると感じている。そういったことについては土木部の管理課が1番得意なことではないはずなので、地域振興だとか、そういうセクションの方が得意なのではないかと思っている。</p>
ソフト事業			<p>被害だけではなく、手間に思うことを解決するためのみどりの共存の仕方などを提案出来たらいいのではと思う。例えば高齢で管理が難しい場合は周りが助けて剪定をする仕組み作りや、みどりを増やしてくれていることに感謝している事を伝えるため、感謝状を送るなど？なんとなく生息している自宅周りのみどりに目標緑化率が支えられている事をまずは知ってもらいたい！と思う。</p>	
事業連携		視座3 視座4	<p>緑を増やした後のソフトをもう少し充実させるべきじゃないかなと思っている。屋上緑化が増えているが、維持管理や楽しみ方など、そういうソフトを入れていけたら、と思っている。</p> <p>スポーツと緑、舟運や船着き場と花壇といった様に、それぞれの事業を関連づけて見る事で、緑にいつそう広がり可能性が出てくると思う</p> <p>課を跨いで共通課題や解決策を共有することで、さらにスピード感を持ってみどり溢れる江東区になってくれることを願います</p>	
推進会議		<p>委員から議題の提案、資料提出ができることよい。</p> <p>みどりの基本計画を推進する中で、定期的に地域の方の意見を聞く機会がもう少しあっても良いのではないかと。</p> <p>区が実施する事業の報告が主な議題になっていると思いますが、それだけで区が行っている事業をチェックしているだけになってしまうと思います。そのことも、もちろん大切だとは思いますが、来年ないしは、2年後、3年後の事業展開（=少し先の将来）についても話し合うことができれば、推進会議の意義もより大きくなると思う。</p> <p>数字として達成率の記載、それぞれの事業ごとに評価の内容やそれに基づく課題を記載しているが、これはとても重要なことだと思う。これによって、課題が何かということなど色々たかたかわかってくる。そのようなことが、次のみどりの基本計画に繋がっていくと思う。</p>		

1 水辺の緑化推進プロジェクト

事業	内容	R5計画	R5実績(3.31時点)
水辺・潮風の散歩道整備事業	散歩道整備	水辺の散歩道 853m 潮風の散歩道 234m	水辺の散歩道 853m 潮風の散歩道 0m
CIG公共緑化(屋上・壁面緑化)	屋上・壁面緑化	対象なし	対象なし
CIG公共緑化(風の道緑化)	橋台敷地緑化	2橋	2橋
CIG公共緑化(公園内接道緑化)	公園接道部緑化	8園	7園
CIG公共緑化(シンボルツリー)	駅前緑化	2か所	2か所
CIG公共緑化(地域特性緑化)	地域特性緑化	実施	実施



水辺の散歩道(小名木川)



地域特性緑化(牡丹)



シンボルツリー(新木場)

2 みんなでつくる公園プロジェクト

事業	内容	R5計画	R5実績(3.31時点)
若洲公園整備事業	Park-PFIを活用した大規模リニューアル	実施	公募実施及び事業者選定
公園改修・児童遊園改修事業(改修・機能再編)	地域のニーズを反映した改修	検討・改修	検討・改修

公園改修・児童遊園改修事業

開園からの年数等を考慮して江東区長期計画で定めた改修サイクルに基づき、地域ニーズの反映、施設の安全性・快適性の向上、みどりの充実、ユニバーサルデザイン等に対応した改修を行っている。



Park-PFI(若洲公園)



公園改修(大島四丁目)



児童遊園改修(千田)

3 安全・安心なまちづくりプロジェクト

事業	内容	R5計画	R5実績(3.31時点)
みどりのまちなみづくり事業	屋上緑化等の助成	実施	0件
街路樹等/河川/公園維持管理事業	樹木の適切な維持管理	調査	調査
公園改修事業(防災機能強化)	かまどベンチ等設置	検討	実施

みどりのまちなみづくり事業 屋上等緑化助成 0件 花壇等緑化助成 0件
街路樹/河川/公園維持管理事業 倒木の危険性に対する樹木健全度調査 101本(街路樹)



緑化助成(屋上緑化)



緑化助成(壁面緑化)



街路樹維持管理

4 みどりの中の都市(CITY IN THE GREEN)魅力発信プロジェクト

事業	内容	R5計画	R5実績(3.31時点)
CIG民間緑化推進事業(江東区みどりの情報の発信)	区報や区ホームページ、SNS、CIGキャンペーンで情報発信	実施	実施

R5実績

情報発信 : Twitter 10回 Facebook 10回

CIGキャンペーン : キャンペーン 4回



Twitter, Facebook



CIGキャンペーン



各施策の取組状況

1 みどりを水彩都市・江東の魅力づくりに活かします。

1-1 水辺を活かしたみどりのネットワークづくり

1-1-2 生き物が増えるみどりのネットワークをつくります

事業	内容	R5計画	R5実績
小学校改築事業	ポケットエコスペースの整備	対象なし	対象なし
みどりのまちなみづくり事業	緑化指導	実施	実施



緑化指導(屋上緑化)

1-2 みどりを活かしたまちなみづくり

1-2-1 公共施設、区民・事業者の施設のみどりを増やします

事業	内容	R4計画	R5実績
みどりのまちなみづくり事業	民間緑化顕彰制度	検討	検討



緑化指導(壁面緑化)

1-2-2 みどりで魅力ある良好な景観をつくります

事業	内容	R4計画	R5実績
都市景観形成促進事業	都市景観形成促進事業	実施	実施



緑化指導(地上部緑化)

※1 みどりのまちなみづくり事業(民間緑化顕彰制度)【検討内容】

地域の環境及び景観の向上に資する優れた緑化計画を顕彰することで、緑化に対する意識を向上させ、CITY IN THE GREENの普及、推進を図る。また、事例をまとめ、緑化計画の事前相談の際に紹介するなど活用する。

令和5年度は引き続き他自治体の事例を参考に、制度導入に向けた課題整理を行った。

※2 都市景観形成促進事業【実施内容】

一定規模以上の建築物等について、景観計画届出書の提出を義務付けており、このうち、大規模建築物等については、学識経験者で構成する都市景観専門委員会に意見を求め、指導・助言を行った(専門委員会は12回開催、新規案件は29件を審議)。

各施策の取組状況

1 みどりを水彩都市・江東の魅力づくりに活かします。

1-3 みどりを活かしたまちなみづくり

1-3-1 みどりでまちににぎわいをつくります			
事業	内容	R5計画	R5実績
みどりのまちなみづくり事業	保護樹木・保護樹林の助成	実施	実施
CIG民間緑化推進事業	江東区みどり百景	検討	検討
1-3-2 オリンピック・パラリンピックの心が残るまちを作ります			
事業	内容	R5計画	R5実績
スポーツを通じた魅力づくりの推進	公園等を活用したスポーツを実施	実施	10回実施 85人参加

※1 CIG民間緑化推進事業(江東区みどり百景)【検討内容】

収集した「みどりの魅力あふれる景観」を積極的に情報発信し、区民には地域への愛着、誇りを感じてもらい、区外には江東区のみどりの魅力を発信していく。令和5年度は引き続き他自治体の取り組み事例を参考に、ホームページ等を活用した収集方法を検討した。

※2 スポーツを通じた魅力づくりの推進

- ・みどりに親しみ、楽しむスポーツ教室(区内の公園・河川敷でノルディックウォーキング教室を実施)
- ・江東カヌーマラソン(区内の河川を周回する各カヌークラブ対抗のカヌーマラソン大会)
- ・季節を感じるウォーキング(季節を感じながらウォーキング方法を学ぶ)



保護樹木(富岡八幡宮)



保護樹林(富岡八幡宮)



ノルディックウォーキング

各施策の取組状況

2 みどりをより柔軟に使えるようにします

2-1 みんなが楽しく使える公園づくり

2-1-1 地域や利用者に求められる公園をつくります

事業	内容	R5計画	R5実績
公園・児童遊園整備事業 公園・児童遊園改修事業	地域のニーズを反映しながらコミュニティ醸成につながる公園等の整備・改修を計画的に実施	(仮称)大島九丁目公園 仙台堀川公園 公園(大規模改修) 1園 公園(小規模改修) 5園 児童遊園(大規模改修) 2園 児童遊園(小規模改修) 3園	(仮称)大島九丁目公園 仙台堀川公園 公園(大規模改修) 1園 公園(小規模改修) 5園 児童遊園(大規模改修) 1園 児童遊園(小規模改修) 0園
公園施設長寿命化計画策定事業	計画策定に向けて検討	検討	検討
区民スポーツ普及振興事業	スポーツイベントの開催	令和5年9月16日に実施予定	令和5年9月16日に実施
サード・プレイスとなる居場所づくり	すみだがわオープンテラス等	推進	推進
健康増進事業	ウォーキングマップの活用	健康づくりポイント提供事業でのウォーキングマップの活用を予定	健康づくりポイント提供事業において、アプリ内にウォーキングマップのコースを掲載し、コースを歩いた参加者へポイント付与。



公園改修(大島四丁目)



児童遊園改修(千田)



スポーツイベント



すみだがわオープンテラス

※1 公園・児童遊園整備(改修)事業

開園からの年数等を考慮して江東区長期計画で定めた改修サイクルに基づき、地域ニーズの反映、施設の安全性・快適性の向上、みどりの充実、ユニバーサルデザイン等に対応した改修を行っている。(仮称)大島九丁目公園は、「区民とともにゼロからつくり上げる公園」をコンセプトに、ワークショップの意見を反映した公園として、令和7年度の開園に向け、工事を開始した。

※2 サード・プレイスとなる居場所づくり【実施内容】

公益財団法人東京都公園協会は、水辺のオープンスペースとして、隅田川をどのように使えるか試すために、9月、10月に隅田川テラスで取り組みを実施した。

各施策の取組状況

2 みどりをより柔軟に使えるようにします

2-1 みんなが楽しく使える公園づくり

2-1-2 みんなで魅力ある公園をつくります

事業	内容	R5計画	R5実績
協働による公園管理運営の仕組みづくり	区民・事業者・NPO等と連携し、マルシェ・イベントの実施による公園づくりやプレーパーク等、こどもが自由に遊べる環境づくりを進める。		推進 ※1 「参考3」参照
マルシェ、イベント、プレーパーク等の普及			
地域による公園管理運営の仕組みづくり	公園の利用について、区内一律のルールではなく、利用者や地域特性に応じたルールづくりに取り組んでいきます。		推進

※1 協働による公園管理運営の仕組みづくり【実施内容】

豊洲公園では、豊洲をさらに魅力的なまちにするために、100年先まで続く仕組み「豊洲グリーン100プロジェクト」が進行中。プロジェクトは、景観や環境を意識した活動を地域に広げることを目的とし、公園を拠点に緑の育成・啓発活動、園芸教育、環境教育を行っている。公園で開催している「豊洲スタイルマーケット」や「豊洲パークガーデンラボ」などのイベントの収益が充てられている。



豊洲ガーデニングクラブ



豊洲スタイルマーケット



豊洲公園入口ガーデン

各施策の取組状況

2 みどりをより柔軟に使えるようにします

2-2 みどりを使ったコミュニティづくり

2-2-1 公共施設、区民・事業者の施設のみどりを増やします			
事業	内容	R5計画	R5実績
CIG民間緑化推進事業	みどりのコミュニティづくり講座	4回 ※1	4回 ※1
みどりのボランティア活動支援事業	花苗等の資材を提供 コミュニティガーデン活動 団体への支援	実施	実施 ※2

※1 CIG民間緑化推進事業(みどりのコミュニティづくり講座)【実施内容】

ベランダでのガーデニングを通してコミュニティづくりを進めることを目的に、地域の人との交流を深めながら、自主的に緑化活動を始められる人材を育てている。

4地域で開催し、ハーブ、コンテナガーデンなどさまざまなテーマを扱っている。区内の緑地やみどりの活動について、講座内で紹介するとともに、実際に現地を見学するツアーを講座終了後に行っている。

※2 みどりのボランティア活動支援事業(コミュニティガーデン活動団体への支援)【実施内容】

花苗等の資材提供やアドバイザーの派遣等を実施した。その他、コミュニティガーデン見学会の実施などにより、コミュニティガーデン活動の認知度向上を図った。



ベランダガーデニング講座



コミュニティガーデン活動

各施策の取組状況

2 みどりをより柔軟に使えるようにします

2-2 みどりを使ったコミュニティづくり

2-2-2 みどりで魅力ある良好な景観をつくります			
事業	内容	R5計画	R5実績
苗圃及び区民農園維持管理事業	野菜や草花を栽培するレクリエーションの場の提供	実施	実施 ※1
みどりのボランティア活動支援事業	ボランティア育成、田んぼ機能維持、田んぼの学校運営助成	実施	実施 ※2



区民農園(夢の島)



(R5) 田んぼの学校(田植え)



(R5) 田んぼの学校(稲刈り)

※1 苗圃及び区民農園維持管理事業【実施内容】

区民農園の令和5年度利用における応募状況は、辰巳区民農園が倍率2.1倍(前年度2.2倍)、城東区民農園が5.4倍(前年度5.2倍)、夢の島区民農園の個人区画が3.4倍(前年度3.8倍)、団体区画が1.7倍(前年度1.3倍)となっている。

※2 みどりのボランティア活動支援事業(田んぼの学校運営助成)【実施内容】

田んぼの学校活動は小学生のいる世帯で、30世帯92名の参加により実施。

各施策の取組状況

3 みどりを安全と生命を支えるために充実させます

3-1 みどりが支える安全・安心なまちづくり

3-1-1 みどりで災害に強いまちをつくれます			
事業	内容	R5計画	R5実績
不燃化特区推進事業 不燃化特区整備事業	オープンスペース整備	1か所	1か所
街路樹等維持管理事業	街路樹の樹木健全度調査	調査及び伐採	調査101本 伐採16本
まちづくり事業と連携した オープンスペースの確保	オープンスペースの確保	推進	推進 ※1
3-1-2 身近な公園の防災機能を強化します			
事業	内容	R5計画	R5実績
危機管理訓練事業	防災啓発の場としての 公園活用	1回	1回



街路樹等維持管理事業
(樹木健全度調査)



危機管理訓練事業
(防災公園でのイベント)

3-2 みどりが支える快適なまちづくり

3-2-2 みどりで地球環境にやさしいまちをつくれます			
事業	内容	R5計画	R5実績
環境学習情報館運営事業	みどりのカーテン設置	改修工事により、 設置不可	改修工事により、 設置不可
水防対策事業	雨水流出抑制の推進	実施	実施



オープンスペースの確保
(潮見地区)

※1 まちづくり事業と連携したオープンスペースの確保(オープンスペースの確保)【実施内容】

潮見地区では、敷地内全体に豊かな緑化を行うことにより、近隣に開放されたにぎわいと憩いの場所を創出するオープンスペースの整備を行った。

各施策の取組状況

4 みどりをみんなで守り育て伝えます

4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり

4-1-1 みんなでみどりを守り育てます			
事業	内容	R5計画	R5実績
自然とのつきあい事業	ポケットエコスペース維持管理支援	実施	実施 ※1
企業のみどりに関する社会貢献活動	社会貢献活動	実施 ※2	
緑のリサイクル事業	剪定枝等チップ化及び堆肥化	実施	実施 ※3
住宅団地のみどりの保全と創出	みどりの保全と創出	実施	
CIG民間緑化推進事業	みどりの基本計画推進会議	3回開催	3回開催

※1 自然とのつきあい事業(ポケットエコスペース維持管理助成)【実施内容】
 ポケットエコスペースの維持管理および自然環境の保全及び育成のための支援を実施。

※2 企業のみどりに関する社会貢献活動(社会貢献活動)【実施内容】
 清水建設株式会社技術研究所(越中島3-4-17)には、都市型ビオトープ「再生の杜」があり、設置後10年以上にわたり動植物のモニタリングを行うなど貴重な取り組みを続けている。

※2 企業のみどりに関する社会貢献活動(社会貢献活動)【実施内容】
 NECソリューションイノベータ株式会社により造成された「新木場駅前チャリティーハーブガーデン」では、摘み取ったラベンダーを使ってハーブの加工品を作成・販売し、売上を花と緑を広げる活動をしている団体に寄付している。

※3 緑のリサイクル事業(剪定枝等チップ化及び堆肥化)【実施内容】
 剪定枝等をチップ化・堆肥化し、資材として活用することで、ごみの減量と緑化を推進。
 【令和5年度実績(見込み)】 剪定枝搬入量1,500m³ チップ生産量500.4m³ 堆肥生産量200.0m³



自然とのつきあい事業



再生の杜(清水建設)



ハーブガーデン
(NECソリューションイノベータ)



緑のリサイクル事業

各施策の取組状況

4 みどりをみんなで守り育て伝えます

4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり

4-1-2 次世代を担うみどりの人材を育てます			
事業	内容	R5計画	R5実績
ネイチャーリーダー講座	ビオトープ保全体験会、自然観察会等の講座を実施	実施	実施
エコ・リーダー養成事業	感染症対策を講じての、初級編と上級編	実施	実施
江東エコキッズ	感染症対策を講じての、こども向け環境学習講座とイベント	実施	実施



エコ・リーダー養成事業

4-2 みどりの大切さを伝える仕組みづくり

4-2-1 「みどりの中の都市(CIG)」のこともっと広めます			
事業	内容	R5計画	R5実績
CIG民間緑化推進事業	みどりの顕彰制度	検討	検討 ※1

4-2-2 みんなでみどりを調べ、大切さを伝えます			
事業	内容	R5計画	R5実績
環境学習情報館運営事業	環境学習講座	実施	45回
庁舎維持管理事業	みどりのカーテン	実施	実施
CIG民間緑化推進事業	緑被率調査・緑視率調査・みどりの実態調査	緑被、緑視率は5年に1度実施	対象なし



江東エコキッズ事業



環境学習情報館運営事業

※1 CIG民間緑化推進事業(みどりの顕彰制度)【検討内容】

みどりに関する主体的な活動を促進するために、区民や事業者のみどりに関する活動のうち、他の活動のお手本となるものやCIGの実現に大きく貢献するものについて顕彰する。

緑化計画の手引きに優良緑化事例の収集について記載している。

令和6年度みどりに関する事業

参考4-1

担当部・課	取り組み名	取り組み主体	関係団体	補足	
地域振興部	スポーツ振興課	健スポまち巡りウォーキング (ウォーキングマップ活用事業)	(公財) 江東区健康スポーツ公社 スポーツ会館	江東区文化観光ガイドの会	スポーツ会館をスタート地点とし、ウォーキングマップに沿った運河や緑道コースを指導員、ガイドツアーとともにウォーキングのアドバイスと江東区の見どころを紹介しながらウォーキングを行う。
		ウォーキングマップ活用事業	(公財) 江東区健康スポーツ公社 深川スポーツセンター	江東区文化観光ガイドの会	スポーツセンターをスタート地点とし、コースの説明、注意点の確認、準備体操等を行う。その後ウォーキングマップに沿ったコースを指導員とガイドツアーとともに、ウォーキングのアドバイスと江東区の見どころを紹介しながらウォーキングを行う。
		シーカヤック教室	(公財) 江東区健康スポーツ公社 深川スポーツセンター	国立大学法人東京海洋大学	令和5年度から新規事業として開催。 教室の中で区内運河等をシーカヤックで巡るツーリングを実施している。 実施場所：大横川等
		季節を感じるウォーキング	(公財) 江東区健康スポーツ公社 亀戸スポーツセンター	なし	公園や河川敷等を活用し、移り行く季節を感じながら効果的なウォーキング方法を学ぶことを目的とする。また、座学を交えることでウォーキングの魅力や奥深さも知ってもらい、1人でも多くの区民にウォーキングが習慣となるよう運動のきっかけづくりを行う。
		ウォーキングマップ活用事業	(公財) 江東区健康スポーツ公社 亀戸スポーツセンター	江東区文化観光ガイドの会	スポーツセンターをスタート地点とし、ウォーキングマップに沿った運河や緑道コースを指導員、ガイドツアーとともにウォーキングのアドバイスと江東区の見どころを紹介しながらウォーキングを行う。
		パークヨガ	(公財) 江東区健康スポーツ公社 有明スポーツセンター	(開催実績)住友不動産商業マネジメント(株)	安全・安心な屋外空間を活用し、スポーツ推進計画における区民アンケート上位の「自然の中で、運動やスポーツをしたい」を事業展開するという観点から、ヨガやフラを近隣公園で実施する。 開催実績：有明ガーデン内芝生広場
		ウォーキングマップ活用事業	(公財) 江東区健康スポーツ公社 有明スポーツセンター	江東区文化観光ガイドの会	ウォーキングマップ内の公園や海沿いを含むコースを選定し、自然に触れながらウォーキングを実施する。ウォーキングマップの紹介をすることで、運動の習慣化のきっかけを作る。
		トレイルランニング体験会	(公財) 江東区健康スポーツ公社 東砂スポーツセンター	なし	ランニングコースに高尾山域を活用し、自然の恩恵を感じながらトレイルランニング体験会を行う。
		ホップウォーキング(仮称) (ウォーキングマップ活用事業)	(公財) 江東区健康スポーツ公社 東砂スポーツセンター	江東区スポーツ推進委員会 江東区文化観光ガイドの会	ウォーキングコースに仙台堀川公園、小名木川、大島小松川公園を活用しながら、ウォーキングの腕ふるいを利用し生クリーム入りのペットボトルからバターも生成する。ウォーキング終了後、出来上がったバターをホクホクのじゃがいもに付けて食べる。(事業内容検討中であり、変更予定)
		東砂スポーツセンターランニングクラブ	(公財) 江東区健康スポーツ公社 東砂スポーツセンター	なし	ランニングコースに仙台堀川公園、大島小松川公園を活用し、江東シーサイドマラソン完走、走力向上に向けたランニング講習会を行う。
		ノルディックウォーキング体験講習会 (ウォーキングマップ活用事業)	(公財) 江東区健康スポーツ公社 東砂スポーツセンター	江東区文化観光ガイドの会	ウォーキングコースに仙台堀川公園、小名木川、大島小松川公園を活用し、ポールの使い方を学びながらノルディックウォーキングを行う。
		ジョギング講習会	(公財) 江東区健康スポーツ公社 深川北スポーツセンター	ワコーインターナショナル株式会社(予定)	近隣の公園をジョギングコースとして活用し、運動習慣を身に付けてもらうこととした講習会。
		ウォーキングマップ活用事業	(公財) 江東区健康スポーツ公社 深川北スポーツセンター	アスリート塾(予定) 江東区文化観光ガイドの会(予定)	江東区保健所が発行しているウォーキングマップを活用し、自然と触れながらガイドさんが街並みや歴史を紹介。指導員が正しい歩き方を指導するため、「運動が苦手」という方でも安心して参加できるウォーキングイベント。
		みどりのカーテン	(公財) 江東区健康スポーツ公社 深川北スポーツセンター	なし	5月中旬から8月下旬にかけて、施設入口ガラス面付近に設置。ゴーヤの苗を21株植えている。
		みどりを親しみ、楽しむスポーツ教室	江東スポーツ施設運営パートナーズ	なし	江東区内の公園や河川敷にて、ノルディックウォーキング教室を実施。 実施場所：荒川の河川敷、大島小松川公園、木場公園、夢の島公園、潮見さざなみ公園、豊洲ぐるり公園、豊住公園など
		親子で森あそび教室	江東スポーツ施設運営パートナーズ	なし	夢の島総合運動場の一角の森にて、親子で自然と触れ合い、体を使って森あそびを体験

担当部・課		取り組み名	取り組み主体	関係団体	補足
地域振興部	文化観光課	夜の水彩カフェテラス	夜の水彩カフェテラス実行委員会	NPO法人江東区の水辺に親しむ会	5月11日(土)16:00~21:00 旧中川川の駅水辺周辺 旧中川川の駅周辺 ナイトクルーズ・ラジコンヨット操作体験・フード・スイーツ・ドリンクサービス。
		隅田川マルシェ	隅田川マルシェ実行委員会	なし	5月3日(金)4日(土)10:30~15:00 越中島公園、隅田川テラス マルシェクルーズや黒板カー、mizube bar、深川めしをはじめグルメ、手作りアクセサリーや雑貨、ビールやクラフトドレッシング、フルーツサンドの販売
		和船乗船会	区(文化観光課)	区(関係課)、江東区観光協会	実施団体に事業費補助。大横川桜のライトアップ、石島橋での出店・パフォーマンス、深川公園でウッドフェスを実施。3月に実施予定。
		お江戸深川さくらまつり	江東区観光協会	区(文化観光課)	実施団体に事業費補助。例年3月に大横川桜のライトアップ、石島橋での出店・パフォーマンス、深川公園でウッドフェスを実施。
		湾岸まつり	江東区観光協会	区(文化観光課)	実施時期:11月 実施場所:豊洲公園
		水彩サロン	NPO法人江東区の水辺に親しむ会	なし	実施場所:森下文化センター 実施予定日:5/19(日)、6/16(日)、7/28(日)、9/8(日)、10/20(日)、11/17(日) 計6回
		「フジクラ千年の森」お話と見学	(公財)江東区文化コミュニティ財団 江東区古石場文化センター	株式会社フジクラ	「フジクラ千年の森」のピオガーデンでいきものを観察しSDGs(エス・ディー・ジーズ)について学ぶイベント。 7月7日(日)に開催する「古石場こども夏まつり」で実施予定。
		小名木川リパーター	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	NPO法人江東区の水辺に親しむ会	内容:水辺から見た江東区をリパーガイド認定者が案内することによって、郷土愛の醸成を育む。 実施日:未定 場所:小名木川及び江東区隣接水辺
		てくてく水辺ウォーク	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	NPO法人ネイチャーリーダー江東	内容:主に大人を対象とした小名木川及び旧中川沿いの散歩。12月に旧中川の野鳥観察。地域理解を深める事業。 実施日:未定 場所:小名木川周辺
		川と緑の生きものの展	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	NPO法人ネイチャーリーダー江東 KOKOPELLI+	内容:旧中川を中心とした江東区内の自然の生き物に触れて学習できる展示会。 実施日:7月24日~28日 会場:東大島文化センター
		カヌーで散歩	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	大島カヌー散歩倶楽部	内容:江戸時代から流れる内部河川、消えてしまった川などを座学で学んだあと、カヌーで現地をまわりながら地域理解を深める。 実施日:座学・カヌー事前講習10月13日/本番10月27日 場所:旧中川
		小名木川リパーウォーク	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	小名木川リパーガイド倶楽部	内容:大島地域の小学生の地域理解として事前学習と散歩で学習する機会を提供 実施日:5/29~12/11 場所:小名木川周辺
		自然科学教室	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	未定	内容:小中学生を対象とした自然科学教室。昆虫、水生生物、植物や気象・星座など身近な環境や事象について学ぶ。 実施日:11/4~11/17 場所:未定
		荒川放水路通水100周年記念講演会 ・パネルリレー展	(公財)江東区文化コミュニティ財団 東大島文化センター	荒川下流河川事務所 荒川放水路通水100周年記念事業事務局	内容:10月に荒川放水路が通水100周年を迎えるにあたり、講演会等を開催し、荒川と江東区、旧中川との関連を学ぶ。 実施日:講演会9/23 パネルリレー展9/18~9/30 場所:東大島文化センター
		ゼロカーボンシティ江東区関連事業 身近な資源でたい肥づくり	(公財)江東区文化コミュニティ財団 江東区砂町文化センター	みどり環境ネットワーク!	・2023(R5)年度新規事業 ・江東区みどりの基本計画施策一覧 4 みどりをみんなで守り育てて伝えます 4-1 みんなで守り育てるみどりのまちづくり 4-1-1 みんなでみどりを守り育てます ●緑のリサイクル事業(剪定枝等チップ化及び堆肥化)に該当
みどりのカーテン	(公財)江東区文化コミュニティ財団 江東公会堂(ティアラこうとう)	なし	軽食喫茶室ガラス面にブランター6鉢分のゴーヤのカーテンを設置		

担当部・課		取り組み名	取り組み主体	関係団体	補足
福祉部	長寿応援課	みどりのカーテン	城東ふれあいセンター	センター職員 ボランティア	敷地内にてゴーヤを植え、みどりのカーテンを実施する
		はじめてのボールウォーキング	東陽福祉会館	なし	江東区内の公園や河川敷、名所にてボールウォーキングによる歩行会を実施。 実施場所：「江東区ウォーキングマップ」を参考に、木場公園、仙台堀川公園、小名木川等（予定） 実施日程：5月・11月・3月（予定）
		千田村	千田児童館・福祉会館	なし	千田福祉会館・児童館の屋上で月に1回小学生向けのイベントとして野菜の種や花の苗を児童と一緒に植え育てている。 イベント日以外でも雑草取りや水やりを来館している児童や福祉会館の利用者に声をかけ実施している。 館内に千田村で育てた花を飾ったり、利用者の方が収穫した野菜に触れられるよう配置したりしている。
こども未来部	こども家庭支援課	みどりのカーテン・亀戸農園	亀戸児童館		・児童館の入り口に緑のカーテンを設置している。 ・食育の観点も含めて、2Fテラスのプランターを利用して野菜を育て収穫している。
		かめsunガーデン	亀戸第三児童館		スカイサンガーデンのプランターで季節の花や野菜を育て、植物の世話や観察などを通して植物に親しみ、豊かな心を育むことをねらいとして実施。 ・乳幼児プログラムでプランターに種まきや水やりを親子で行い、収穫体験をしている。 ・日々の水やりや花がらつまみなど、希望者を募って実施している。気軽に植物の世話をし、お手伝いをするという機会を幼児から主に小学生に投げかけている。
		原っぱイベント	江東区土木部河川公園課	古石場児童館	実施場所：深川公園 日程：5月25日（土）、9月28日（土）、10月26日（土）各日親子10組程度
		親子でセミの羽化観察会	小名木川児童館	NPO法人・ネイチャーリーダー江東	NPO法人・ネイチャーリーダー江東の協力を得て、隣接する北砂五丁目団地一帯に広がる樹林地（憩いの森）に於いて「セミの羽化観察会」を行う。「セミの羽化」に関するお話と併せて、親子で自然と触れ合いながら、自然の神秘や生命の大切さを感じ、また自然に親しみを持たせることをねらいとする。（年に一度、夏休み期間中に開催）
		もりじ菜園	森下児童館		・利用者と共に種まき、苗植え、水やりを行い野菜等を育てる楽しみを味わう。
		こども農村塾	東雲児童館		小さな農園で野菜を育てる月に一度の活動。さつまいもの上床作りや苗の植え付け、トマトの苗付け、落ち葉たい肥作り等。これまで、きゅうり、だいこん、トマト、じゃがいも、さつまいも、落花生、おくら、ブロッコリー等の作物を栽培しています。
		植物を育てよう！（オクラ）	東砂第二児童館		東砂第二児童館玄関前のスペースにプランターでオクラの栽培を行う。 利用児童に種植えから参加してもらい、来館時や退館時に水まきをお手伝いいただき 収穫までの流れを乳幼児、児童に楽しんでもらう。
		児童館宿泊体験事業	東砂第二児童館		東砂第二児童館前の駐輪スペースの緑地部分の手入れを草花の種類などを学習しながら、館行事の一環として利用児童皆で楽しみながら体験する。
		みなみすなグリーンファーム	南砂児童館	行事参加者（乳幼児親子・小学生等）	南砂児童館2階ベランダにプランターを配置し、毎年、5月に参加者を募集し参加いただく。 夏野菜の苗を植え、花の種をまき、参加者に成長を見守っていただく。時間がある時に水まきや肥料やりなどお手伝いいただく。収穫期には、児童館来館時や参加者へ連絡するなどし、収穫を楽しんでいただくと共に乳幼児・児童への食育に役立てていただく。
		原っぱイベント 千田村	江東区土木部河川公園課 千田児童館	南砂児童館	実施場所：日曹橋公園 5月25日（土） 9月28日（土） 10月26日（土） 実施予定 ・千田福祉会館・児童館の屋上で毎月1回小学生イベントとして野菜の種や花の苗を児童と一緒に植えるなど育てている ・千田村で育て収穫した野菜などは利用者の方にも触れられるように配置するなどしている
都市整備部	まちづくり推進課	運河ルネサンスによる運河等を活用したイベント	運河ルネサンス協議会	まちづくり推進課、他関係所管（オブザーバーとして参加）	運河ルネサンスとは、東京都港湾局が推進する制度であり、運河の水域利用と地域が一体となり、にぎわいや魅力等の創出を目的とした取組みである。町会、地元企業等から構成される協議会が主体となって活動し、区内において2地区が運河ルネサンスの指定を受けている。 (1) 豊洲地区運河ルネサンス協議会 豊洲・東雲運河にて活動。令和6年度のイベントは7/6（土）・7（日）に実施予定。 (2) 東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会 汐浜・汐見運河にて活動。令和6年度のイベントは10月頃に実施予定。
		水辺のまちづくり懇談会	清澄一丁目町会	（共催）株式会社帝国倉庫 （協力）東京大学	開催頻度：令和5年7月29日に第1回「水辺のまちづくり懇談会」が開催され、1年間で計5回開催。 参加者：清澄一丁目の住民や本社所在企業を中心に30～50名程度を想定。 目的：まちづくりに関する講演会や参加者の交流会を行うことで、自由に意見交換できる場を継続的に設け、地区のさらなる発展を目指すための人のつながりを生み出す。 ※隅田川及び小名木川に隣接している。

令和6年度みどりに関する事業（各公園指定管理者等の取り組み）

参考 4-2

公園名	指定管理者	取り組み内容(予定)	所管部署・備考
旧中川水辺公園	Koto旧中川水彩パークJV	旧中川・水彩ガーデンクラブ、水辺の生物観察会、旧中川ガーデンイベント（チューリップ球根植え、ラベンダー植え）	施設保全課
若洲公園	東京港埠頭株式会社	クリスマスリース教室、釣り教室	施設保全課
豊洲公園、 豊洲ぐるり公園、 豊洲六丁目公園、 豊洲六丁目第二公園	オーエンス・フクシ・天龍グループ	野外自然教室、特別支援学校との花壇整備事業	施設保全課
豊洲公園、 豊洲ぐるり公園、 豊洲六丁目公園、 豊洲六丁目第二公園	豊洲パークマネジメントJV	豊洲ガーデンクラブ、植物育てのキホン講座、パークガーデン実践講座、豊洲SDGsクラブ、草木染講座など 寄せ植え講座、植物講演会	施設保全課
深川公園、 日曹橋公園	天龍造園建設株式会社	公園の原っぱ整備及び原っぱを活用したイベントの開催	河川公園課 (委託契約)



旧中川水彩ガーデンクラブ
(旧中川水辺公園)



豊洲ガーデンクラブ
(豊洲公園)



原っぱイベント
(大島四丁目第二公園)

江東区みどりの基本計画推進会議部会について（報告）

部会テーマ

みどりに関心を持ち、その仲間を増やし、活動する

第29回部会

日時：令和6年4月9日（火）13時開始

場所：江東区役所防災センター3階土木部会議室

議題

- (1) 行事等の実施報告及び予定について
- (2) 東陽モデル地区における提案について
 - ・花を使った街の景観づくり
 - ・みどりの魅力発見にむけたマップやHPづくり
- (3) 令和6年度の部会について
- (4) その他

概要

東陽モデル地区において検討を行った。

i) 花を使った街の景観づくり

庁舎の芝生広場での花壇作りについて、実際の花壇に向けた条件確認やスケジュール等を議論した。

5月7日（火）に土づくりを実施し、5月14日（火）の部会後に花苗の植栽作業を行うこととした。花壇のコンセプトは、以下の2つとした。

①夏の暑さにも耐えられる環境に配慮したガーデン**②江東区の自生種で構成するガーデン**

①夏の暑さにも耐えられる環境に配慮したガーデンについては、メンテナンスや水やりが少なくてもいつもきれいな花壇を整備・管理し、花壇作り方の見本として提案できると良いとの意見がでた。

また、②江東区の自生種で構成するガーデンについては、チガヤ、オギ、チカラシバ等のグラス類に加えて、季節ごとに花壇を彩る植物（ムラサキケマン等）を織り交ぜてデザインすると良いとの意見がでた。

その他としては、SNSを活用した広報や雨水の利用、市民参画につながる仕掛けを考えると良いとの意見がでた。

ii) みどりの魅力発見にむけたマップやホームページづくり

「こうとうみどりの魅力発見ポータル（区ホームページ）」を活用したみどりの情報発信を通して、課題の整理と改善について議論した。

イベントカレンダーやえこっくるとの連携、区のLINEへの掲載を検討していくと良いとの意見がでた。

また、掲載の申請方法や対象についても検討を重ね、運用の効率化や広がりを考えることが必要との意見がでた。

令和6年度以降の部会のあり方についての議論も行った。

部会の開催頻度については、部会の目的や役割、今後の方向性を整理したうえで、議論する必要があるとの意見がでた。



第29回部会の様子

第30回部会

日時：令和6年5月14日（火）13時開始

場所：江東区役所防災センター3階土木部会議室

議題

- (1) 行事等の実施報告及び予定について
- (2) 東陽モデル地区における提案について
 - ・花を使った街の景観づくり
 - ・みどりの魅力発見にむけたマップやHPづくり
- (3) 江東区みどりの基本計画推進会議への報告について
- (4) その他

概要

東陽モデル地区において検討を行った。

i) 花を使った街の景観づくり

庁舎の芝生広場での花壇作りにおける、今後の進め方について議論を行った。

5月中旬に花壇の整備を終え、管理としては夏を越すことを当面の目的とした。並行して、取り組みの具体的な内容やゴールのイメージ、実施計画の作成等を段階的に検討していくこととした。

また、11月までに来年以降の継続について、決定する。その他、活動紹介の看板の設置が必要との意見がでた。

会議終了後、花壇へ移動し、花苗の植え付け作業を行った。

ii) みどりの魅力発見にむけたマップやホームページづくり

「こうとうみどりの魅力発見ポータル(区ホームページ)」を活用したみどりの情報発信を通して、課題の整理と改善について議論した。

「こうとうみどりの魅力発見ポータル(区ホームページ)」のアクセス数を指標として記録し、波及効果の検証や取り組みの評価ができるの良いとの意見がでた。また、区ホームページ以外の情報発信方法の検討も必要との意見がでた。

令和6年度以降の部会のあり方について、事務局が整理した目的、現状・課題、役割、今後の方向性(案)をもとに、議論を行った。

みどりの基本計画の進行管理(PDCAサイクル)における部会の位置づけについては、Do(実施)、を担っているとの意見やPlan(計画)を担っているとの意見、Act(改善)を担っているとの意見、あるいはその全てにおいて担う位置づけではないかとの意見がでた。改めて、部会の位置づけを整理したうえで、今後の方向性を検討していくこととした。



第30回部会の様子



花壇への植え付け作業の様子

第3 1回部会

日時：令和6年6月11日（火）13時開始

場所：江東区役所防災センター3階土木部会議室

議題

- (1) 行事等の実施報告及び予定について
- (2) 東陽モデル地区における提案について
 - ・花を使った街の景観づくり
 - ・みどりの魅力発見にむけたマップやHPづくり
- (3) 令和6年度の部会について
- (4) 生物多様性フェアへの出展について
- (5) その他

概要

東陽モデル地区において検討を行った。

i) 花を使った街の景観づくり

庁舎の芝生広場での花壇作りにおける、活動紹介の方法について議論を行った。

現地に設置する活動紹介看板の内容のほか、

- ・区ホームページで植栽されている花の詳細や育て方を掲載すること
- ・インスタグラムなど SNS での周知などの意見がでた。

6月中を目途に看板の設置を進めることとした。

会議終了後、花壇へ移動し、花がら摘みや花壇の観察を行った。

ii) みどりの魅力発見にむけたマップやホームページづくり

「こうとうみどりの魅力発見ポータル（区ホームページ）」を活用したみどりの情報発信を通して、課題の整理と改善について議論した。

毎月のページアクセス数の推移を一つの指標として、今後の展開を検討していくとよいなど

7月10日から開催される生物多様性フェアへの出展について議論を行った。

- ・現在取り組んでいる庁舎花壇の取り組みや「こうとうみどりの魅力発見ポータル」をPRできるとよい
- ・部会活動のこれまでの取り組みやその経緯の紹介
- ・取り組みを広げる観点では、意見交換会のようなものに興味がある方をターゲットに、意見や連絡をもらえるような仕組みがあってもよいのではないかなどの意見がでた。

次回の部会までに展示パネル案を作成し、最終確認することとした。



第3 1 回部会の様子

第3 2 回部会

日時：令和6年7月9日（火）13時開始

場所：江東区役所防災センター3階土木部会議室

議題

- (1) 行事等の実施報告及び予定について
- (2) 東陽モデル地区における提案について
 - ・花を使った街の景観づくり
 - ・みどりの魅力発見にむけたマップやHPづくり
- (3) 生物多様性フェアへの出展について
- (4) 令和6年度の部会について
- (5) その他

概要

東陽モデル地区において検討を行った。

i) 花を使った街の景観づくり

庁舎の芝生広場での花壇作りにおける、活動紹介の方法について議論を行った。

現地に設置した活動紹介看板について、花壇を見ていただくだけでなく、興味のある方を取り組みに誘うような仕組みを考えるとよいなどの意見がでた。

会議終了後、花壇へ移動し、花がら摘みや花壇の観察を行った。

ii) みどりの魅力発見にむけたマップやホームページづくり

「こうとうみどりの魅力発見ポータル（区ホームページ）」を活用したみどりの情報発信を通して、課題の整理と改善について議論した。

・CIG 推進係で発信しているみどりに関する情報発信に合わせて、「こうとうみどりの魅力発見ポータル」の URL を紹介した。

・Facebook や X（旧 Twitter）での発信は良いが、LINE での発信については、単独で表示されることや、環境まちづくりの枠で表示されることがあるが、情報の出し方により伝わり方や広がり方が違ってくると思う。

7月10日から開催される生物多様性フェアへの出展について議論を行った。

- ・部会に参加しているメンバーの紹介をするとよい
 - ・来訪者へのヒアリングとしては、花を使った街の景観づくりに参加する場合、どのような取り組みであれば参加できるか、したいかを伺うとよい
 - ・来訪者へのヒアリングとしては、どの媒体から情報を受けやすいかなどについて伺うとよい
- などの意見がでた。



第32回部会の様子



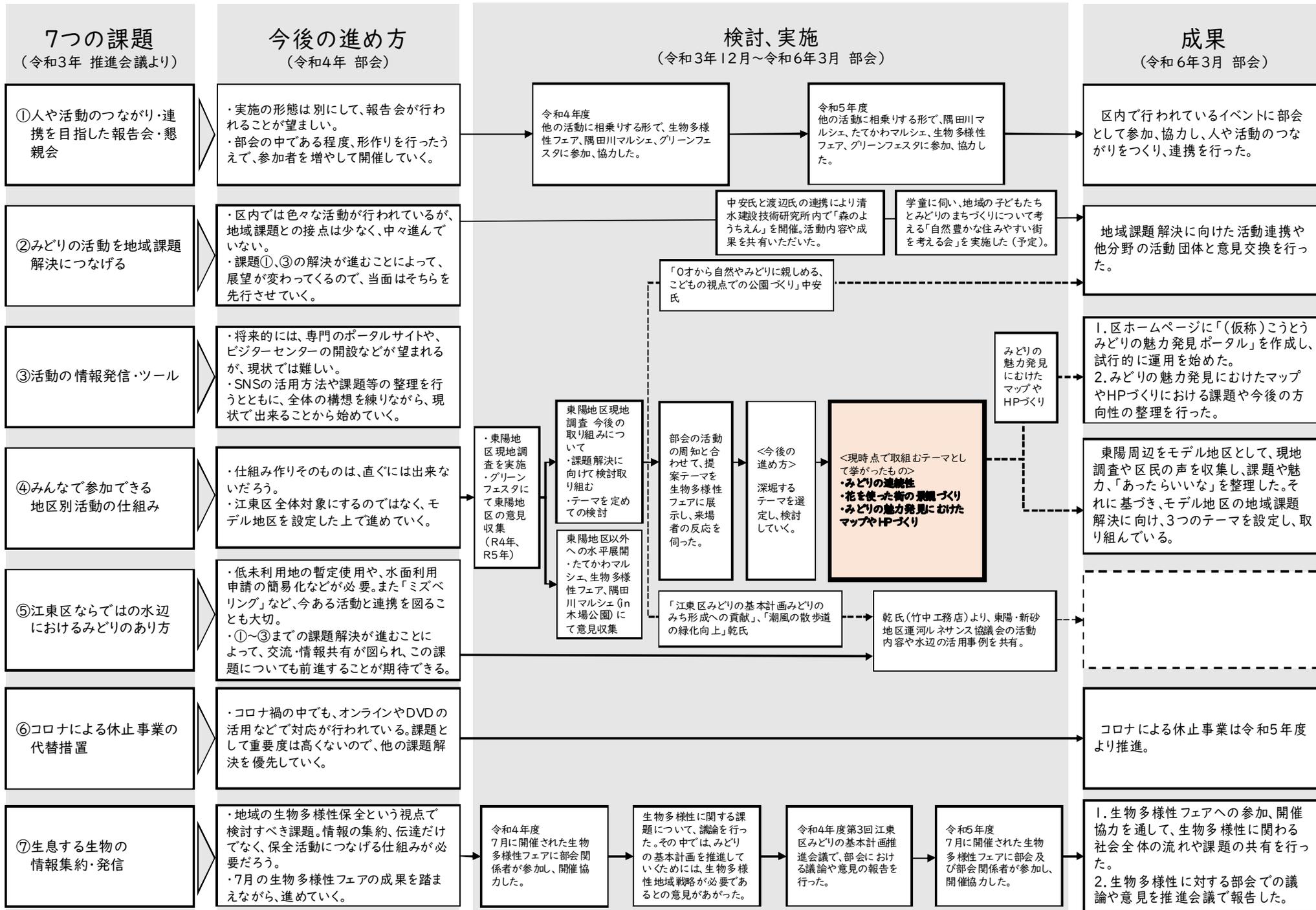
庁舎花壇 活動紹介看板設置状況

以上

検討フロー図

部会テーマ「みどりに関心を持ち、その仲間を増やし、活動する」

確定
 未定、未確定



意見等回答様式（提出締切 令和6年8月9日（金））

令和6年度第1回江東区みどりの基本計画後期改定委員会における各議題について、ご意見等を記載していただき、記載日、委員名をご記入のうえ令和6年8月9日（金）までにメールもしくはfaxでご返信をお願いいたします。

なお、裏面に自由記載欄がありますので、ご意見等の補足などありましたらご利用ください。

◆議題（1）後期改定の概要及び視点について

・ご意見等

◆議題（2）区民アンケート調査について

・ご意見等

令和 年 月 日

委員氏名

◆自由記載欄（補足などありましたらご利用ください）

◎提出先

住所 : 江東区東陽4-11-28

宛先 : 江東区土木部管理課CIG推進係

FAX : 03-3647-8454

mail : cigmidori@city.koto.lg.jp